

⑫ 公開特許公報(A)

平1-246264

⑤ Int. Cl.⁴C 07 D 215/22
A 01 N 43/42
43/54

識別記号

1 0 1

庁内整理番号

8413-4C
7215-4H
G-7215-4H※

⑬ 公開 平成1年(1989)10月2日

審査請求 未請求 請求項の数 11 (全23頁)

⑭ 発明の名称 キノリン、キナゾリンおよびシンノリン誘導体

⑮ 特 願 平1-19401

⑯ 出 願 平1(1989)1月27日

優先権主張 ⑰ 1988年1月29日 ⑱ 米国(US) ⑲ 150103

⑳ 発 明 者 マイケル・ジョゼフ・ アメリカ合衆国インディアナ46250、インディアナポリ
コフラン ス、クリケット・リッジ5744番㉑ 発 明 者 バリー・アラン・ドレ アメリカ合衆国インディアナ46236、インディアナポリ
イコーン ス、トリロビ・ドライブ9731番㉒ 出 願 人 イーライ・リリー・ア アメリカ合衆国46285インディアナ州 インディアナポリ
ンド・カンパニー ス市、リリー・コーポレート・センター (番地の表示な
し)㉓ 代 理 人 弁理士 青 山 葆 外1名
最終頁に続く

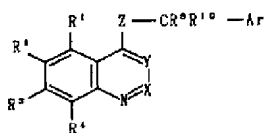
明 細 書

1. 発明の名称

キノリン、キナゾリンおよびシンノリン誘導体

2. 特許請求の範囲

1. 式:



[1]

[式中、R¹~R⁴はそれぞれ個別にH、ハロゲン、1、(C₁~C₄)アルキル、分枝状(C₃~C₄)アルキル、ハロ(C₁~C₄)アルキル、(C₁~C₄)アルコキシ、ハロ(C₁~C₄)アルコキシ、NO₂、またはNH₂(ただしR¹~R⁴のうち少なくとも2個はHである);

XおよびYはその一方がN、他方がCR⁵であるか、あるいはXとYの双方がCR⁵(R⁵はH、CH₃またはClである);

ZはO、NR⁶、S、SO、SO₂またはCR⁷R⁸(R⁶はH、(C₁~C₄)アルキルまたは(C₂~

C₄)アシル、R⁷およびR⁸はそれぞれ個別にH、(C₁~C₄)アルキル、分枝状(C₃~C₄)アルキルまたは(C₁~C₄)アシルであるか、あるいはR⁷およびR⁸はこの双方を合して形成される3~7個の炭素原子を含む飽和もしくは不飽和炭素環式基を表わすか、あるいはR⁷およびR⁸はその一方とR⁶およびR⁵の一方とを合して形成することができる二重結合を表わしてもよい);

R⁶およびR⁸はそれぞれ個別にH、(C₁~C₄)アルキル、フェニル、置換フェニル、(C₃~C₆)シクロアルキル、ヒドロキシ、ハロゲン、1またはアセチルを表わすか、あるいはR⁶およびR⁸はこの双方を合して形成される3~7個の炭素原子を含む飽和もしくは不飽和炭素環式基;

Arは(C₃~C₆)シクロアルキル、置換された(C₃~C₆)シクロアルキル、(C₃~C₆)シクロアルケニル、ナフチル、ジヒドロナフチル、テトラヒドロナフチル、デカヒドロナフチル、1,3-ベンゾジオキソリル、フルオレニル、ピリジル、2,3-ジヒドロ-1,4-ベンゾジオキシン-2